

# みたけ夢だより

10月号

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】

横浜市立みたけ台小学校

公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

## コロナ禍にあっても … みた小らしく あたかく 地域の方に支えられ

校長 羽田 敏隆

9月25日・28日・29日の3日間、コロナ感染症対策を行いながら学年ごとに体育館で懇談会を実施しました。ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。「コロナ対応・行事」「あゆみ」を中心にお話させていただきました。

行事の実施について、市内の小中学校と情報交換をしながら、いろいろな観点で時間をかけて検討してまいりましたが、みたけ台小として「**運動会・宿泊行事・土曜参観・収穫祭・わら細工は中止する**」決断をしました。「様々な工夫・配慮で感染リスクは下げられるがゼロにはならない」「クラスターが発生した場合に、何とか維持している学校の学びが継続できなくなる」「ご高齢・疾患を抱えている方が同居されているご家庭もある」等の点で、リスクを負うことはできないと判断しました。市内統一した判断ではなく、本校とは異なる判断の学校もありますが、その判断を否定するものではありません。各校それぞれ苦渋の決断であり、ご理解をいただきたいと思えます。

このような状況の中、**5年生が稲刈りを実施**しました。例年は代掻き・黒塗り・田植えも児童が行っていましたが休校で断念。みたけ米づくりが危ぶまれましたが村田さんの「できることだけでも子どもたちに経験させたい」というご厚意で稲刈りが実現しました。

9月1日からは**集団登校が再開**しました。地域の皆さまにおかれましては残暑が大変厳しい中であつて、毎朝「おはようございます」と声をかけながら子どもたちの安全安心のために要所に立っていただき心より感謝しております。上級生が下級生に目を配りながら登校する本校の良き伝統を継続することができました。

季節の花がいっぱいの、**みた小自慢の花壇**も地域の方々のあたたかいお心の表れの一つです。ありがとうございます。たくさんの方々に支えられ、みたけ台小学校があります。



## ピンチをチャンスに … 工夫と改善 そして新たなことにチャレンジも

学校での生活・学習の様子をお伝えする『あゆみ』について、コロナ禍で授業時間が確保できず評価資料が少なかったことを鑑み、お渡し時期を終業式の日ではなく11月に遅らせることにしました。「**三者面談(児童・保護者・教員)**」を11月に新たに設け、そこで『あゆみ』をお渡ししながらお子さんの成長や課題についてお伝えします。面談を設けることで、今までより丁寧にコミュニケーションを図り、お子さんの様子をお伝えすること、ご家庭での様子を把握することを狙いとしています。

運動会に変わる『エンジョイスポーツウィーク』は保護者参観ができませんが「写真販売」に加えPTAのボランティアの方にご協力をいただき、「**動画配信**」を計画しております。

また、「**電子黒板の機能をもったプロジェクター**」を導入してICT化を推進します。PTAについても集まっての会合や作業ができない中、組織改善や業務整理により「できる人が、できる時に、できることを」行うという方針を立て、**より参加しやすいPTA**を目指しています。

依然として困難な状況は続きますが、今後も保護者・地域の皆様と共により良い学校づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

